令和7年度
第1回行政改革推進委員会議事録

日 時	令和7年5月22日（木） 13:30～15:20	
場 所	南島原市役所 西有家庁舎3階 大会議室	
出席者	委 員	8名
	市・事務局	松本市長、五島総務部長、末永人事課長、隈部未来創生班長、松尾副参事、荒木主査
欠席委員	2名	
会議次第	1 開 会 2 市長あいさつ 3 委嘱状交付 4 諮問 5 行政改革推進委員会の概要説明 6 議 題 (1)第5次南島原市行政改革大綱の方向性について 7 その他 8 閉会	

発言者	発 言 内 容
事 務 局	<開会>
市 長	<あいさつ>
事 務 局	委員各位に委嘱状を交付する。
市 長	<委嘱状交付>
事 務 局	<p>本日は2名の委員から欠席の連絡があっている。委嘱状は後日郵送させていただく。</p> <p>さて、会議次第3ページ「南島原市行政改革推進委員会条例」の第5条に、「会長が議長となる。」と定められているが、現在会長が決まっていないため、勝手ながら会長が決まるまで、私の方で進行させていただく。</p> <p>会長は、「南島原市行政改革推進委員会条例」の第4条で、「委員の互選により会長を定める。」とされているが、委員各位がよろしければ事務局から提案させていただきたい。</p>
委員一同	(「了解」の声)

発言者	発言内容
事務局	了解いただいたので、「隈部太洋委員」にお願いしたいが如何か。
隈部委員	〔了解〕の声
事務局	「隈部太洋委員」を会長に決定してよろしいか伺う。
委員一同	〔異議無し〕の声
事務局	<p>「異議が無い」ので、「隈部太洋委員」が会長に選任されたことを確認する。</p> <p>次に、現在の第4次行政改革大綱の計画期間が本年度（令和7年度）までとなっているが、人口減少社会に対応した効率の良い行政運営を行うため、今後も引き続き行政改革を進めたいと考えている。そこで、第5次南島原市行政改革大綱の策定にあたって、市長から行政改革委員会へ諮問させていただく。</p>
市長	<p>南島原市行政改革推進委員会、会長様。</p> <p>第5次行政改革大綱の策定にあたって、次を諮問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次期大綱で取り組む事項に関する事 2. その他、行政改革の推進に関する事 <p>本市では、市の発足以降20年にわたって行財政改革に取り組んできたが、加速する人口減少とそれに伴う地域産業の衰退による税収や地方交付税の減少をはじめ、物価高騰による維持管理経費の増加や社会インフラ等の老朽化に伴う設備更新といった財政的な需要の増加が見込まれ、これまで以上に厳しい財政運営を迫られることが予測されている。</p> <p>このような状況に対応するため、多様化する行政ニーズに対応可能な行政サービスの更なる向上・効率化や公共施設等の適正規模・適正配置等による、健全で持続可能な財政基盤の確立を進める必要があることから、次世代に繋ぐ持続可能な行政運営を実現するための指針として、令和8年度からの5年間を計画期間とした第5次行政改革大綱を策定することとした。</p> <p>このため、次期大綱の策定に際し、次期大綱に掲げる取組内容等について貴委員会へ諮問するもの。</p> <p>令和7年5月22日。南島原市長 松本 政博。</p>
事務局	市長はこの後公務が入っているので、ここで退席させていただく。 <市長退席>
事務局	続いて「行政改革推進委員会の概要説明」を、事務局から説明する。

発言者	発言内容
事務局	行政改革推進委員会の概要資料により、以下の6項目を説明。 <ul style="list-style-type: none"> ・行政改革推進委員会の経緯 ・現在の行政改革の取り組み ・委員の役割 ・委員会の構成 ・委員の任期 ・会議出席の報酬
事務局	ここで、会長と議事の進行について打ち合わせを行うので、5分ほど休憩を取る。13時45分から再開したい。
	(休憩)
事務局	会議を再開する。 ここからは、会長に議事進行をしていただく。
議長	「第5次南島原市行政改革大綱の方向性について」を議題とする。 事務局に説明を求める。
事務局	<議題(1)の説明> 行財政改革に関する最近の国の動向について【資料1】 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル行財政改革の必要性(1ページ)。 ・デジタル行財政改革の基本的考え方と取組方針(2ページ)。 ・国が推進している主な取組「地域におけるDXの推進」(3ページ)。 ・「地域におけるDXの推進」の具体例(4ページ)。 ・本市のDX推進の取組を防災課DX推進班から説明(タブレット使用)。 市の人口推移及び公共施設の現状【資料2】 <ul style="list-style-type: none"> ・本市の将来の人口推計(1ページ)。 ・第1期個別施設計画分の進捗状況(23ページ)。 市の行政改革の背景と今後の方向性【資料3】 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの計画策定の背景を説明(1ページ)。 ・本市の状況として、各大綱策定期間における財政効果、市税・交付税の歳入決算状況、職員の定員適正化計画の進捗状況とその人件費を説明(3～4ページ)。 ・財政状況は、平成30年度から令和7年度までの8年間の当初予算について、その歳入歳出の推移、特に財政調整基金取崩し額の推移から、歳入歳出の均衡がとれていない(5～6ページ)。

発言者	発言内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の財政指標の推移を説明（7ページ）。 ・第5次大綱の計画期間はこれまで同様5年（8ページ）。 ・計画期間における主な課題として（8ページ）、 <ul style="list-style-type: none"> ①厳しさを増す財政状況への対応 ②人口減少社会への対応 <p>の大きな2つの課題と、課題を踏まえた第5次計画における3つの以下の方針（8ページ）の設定を予定している旨を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健全で持続可能な財政基盤の確立 ②デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進 ③効率的な組織の構築と職員の人材育成 <p>説明は以上。</p>
議長	ただ今の説明に対して、意見等無いか。
委員	子供が3月中旬に緊急に戸籍が必要になってコンビニ交付をしようとしたが、南島原市はできなかつた。現在はできるようになったのか。今後コンビニ交付はできるようになるのか。
事務局	現時点もできない。現在システムの標準化を全国で進めているが、それが終わり次第、所管課は進めると聞いている。
委員	印鑑証明をとるときに、マイナンバーカードで取れると思っていたができなかつた。令和5年から窓口のデジタル化をしているはずだが、いつごろからできるようになるのか。
事務局	マイナンバーカードのICチップに自治体独自に活用できる領域があるが、本市ではそこに印鑑登録証明に利用できるよう設定していない。担当課に申し送りしておくが、いつ頃できるようになるかはわからない。
事務局	進めるかどうかを含めて検討願いたい。
委員	DXを推進しているが、各取り組みの実績数はどの程度か。またメリットは何か。
事務局	<p>申請書作成支援サービスの利用者については、令和6年度は29人。リモートロックの利用は令和7年2月から市内10か所配置したばかりで実績は出ていないが、可能な限りリモートロックを使うよう所管課には勧めている。</p> <p>リモートロックについてのメリットとしては、鍵の貸し借りのためだけに管理人を雇うこともなくなるし、鍵の返却が公民館の閉館時間の10時を過ぎることもなくなると思う。</p>

発言者	発言内容
	(DXアクションプラン実績報告をタブレット上で確認)
委員	申請者の年代層は？
事務局	<p>年齢までは調べていないが、汎用的電子申請システムでは現在32の手続きを利用することができるが、子育て関係の手続きが多く、母親世代が使っているものと推測される。</p> <p>デジタル手続きを準備することで手続きの方法の選択肢を広げたいが、今後の展開は、各部署がデジタル手続きを進めたいかどうかにかかっている。</p>
委員	メリットは多くあるだろうが、高齢の方がうまく使えないことが多いと思う。高齢者が取り残されないようにしないとイケない。
事務局	書かない窓口では、高齢者も利用できるよう、支所の窓口職員が使い方の支援をしている。
委員	高齢者等のデジタル弱者が利用を躊躇しないようにしてほしい。
委員	先日運転免許証の更新に行ったが、免許証には3種類方法があったので、これまでの免許証に加え、マイナンバーカードにも免許証機能を入れることを選択した。このとき6桁以上の暗証番号が必要だったが記憶になかったため近隣の口之津支所に行ったら、その場で登録を行うことができた。従来は1日か2日はかかるそうだが、迅速だった。
委員	リモートロックを使った際に、鍵の閉め忘れやキーボックスへの入れ忘れがあるかもしれないが、その時の対応は？
事務局	かけ忘れはこれまでもよくあるし、キーボックスへの返却忘れは今後あるかもしれない。システムにより管理する方法はある。
委員	人間忘れることもあるので、そのあたりの対応も検討していただきたいと思う。
委員	事業費の記載があるが、費用対効果は把握しているのか。
事務局	<p>例えば汎用的電子申請システムは県内市町で共同調達しているので、1自治体あたりの事業費はかなり安い。事業費を申請者数で割れば1申請あたりの単価が算出できるが、各種申請をこのシステムを使えばもっと単価は安くなる。RPAも同様。</p> <p>会議システムは年間使用料が50万円ほどかかるが、従来のおり紙で資料を作成した場合、資料の印刷代や用紙代を含めれば50万円以上かかっており、効果が見えてきている。</p>
事務局	削減した時間を職員人件費で換算することもできるので、人件費

発言者	発言内容
	削減分も含めれば相当な効果があると言える。
事務局	デジタル化は重要だが、高齢化が高いので何でもかんでもデジタル化とはいかない。またデジタル田園都市国家構想交付金だけではなく、その他の補助金等も活用をしたい。
委員	先ほどの説明でチャットGPTの話があったが、市の課題解決の方法を聞いたことはあるのか。市の発展方法を聞いたら答えてくれるのではないか。
事務局	答えてくれるが聞いたことは無い。
事務局	信頼性に乏しい情報を含めたネット上のデータを利用して回答をするので、回答をそのまま使えるかどうかは不明。AIに市独自の情報を覚えさせて特定の分野について聞くことは現在も行っている。
議長	時間になったので、以上で審議を終了させていただく。 これで、本日のすべての議題が終了したので、事務局に進行をお返しする。
事務局	「今後のスケジュールについて」、事務局から説明をさせていただく
事務局	<p>第5次行政改革大綱・集中改革プラン 策定スケジュール(案)【資料4】に基づき、以下を予定している旨を説明。</p> <p>①行革推進委員会で委嘱、諮問、概要説明、方向性確認(5月22日)</p> <p>②第4次改革プランの実績確認と第5次改革プラン項目検討(7月下旬)</p> <p>③第5次改革プラン項目検討(9月下旬)</p> <p>④第5次改革プラン項目確認、答申案の検討(11月中旬)</p> <p>⑤答申案の検討、パブリック・コメント内容説明(12月中旬)</p> <p>⑥パブリック・コメント結果説明、答申案確認、答申(2月下旬)</p>
事務局	ただ今の説明に対して、質問等は無いか。
	(特になし)
事務局	本日ご協議いただいた内容は、委員各位から頂いた意見等とともに、市のホームページへ資料と会議の概要を掲載させていただく。 次回の開催日程について、担当から説明させていただく。
事務局	次回は、7月22日の週を予定している。日程が決まったら案内させていただきます。

発言者	発言内容
事務局	以上をもって、「令和7年度 第1回南島原市行政改革推進委員会」を終了させていただく。